

## 目的

在宅療養者の急変時入院の受入れ促進をめざし、地域包括ケア病棟や回復期・慢性期病床を持つ病院の医療や看護の一層の向上によるポストアキュートとサブアキュート患者の受入れ拡大や、急性期病床を持つ病院の患者の流れを円滑化するために、各病院が有する医療や看護のスキルを相互に提供し合うことを通じ、病院間の更なる連携促進を図るものです。

## イメージ (例)

### 【急性期病床を持つ A病院】

誤嚥性肺炎や圧迫骨折、心不全の方など、急性期症状が落ち着いた以降、転院して以後のフォローをしてくれる病院に引き継ぎたい。



### 【地域包括ケア病棟を持つ B病院】

摂食嚥下機能の評価や言語聴覚士等による訓練、骨折後のリハビリに力を入れている。ポストアキュート・サブアキュート患者をもっと受入れていきたい。



### 提供可能な医療・看護のスキル

心不全患者の亜急性期の医療管理や再発防止の指導  
認定看護師による皮膚・排泄ケアのノウハウ

### 研修等の実施 連携の強化



### 提供を受けたい(強化したい)医療・看護のスキル

心不全患者の亜急性期の医療管理について  
ストマや褥創についての看護スキル

- 1 提供可能なスキル・提供を受けたいスキルの一覧表の作成
- 2 事業説明会にて、各病院の医師や連携室担当者の情報交換

市が、各病院に照会し一覧表を作成  
市主催の事業説明会を開催

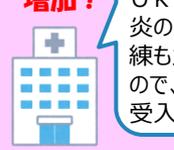
病床の回転  
が上がる！

今後は、急性期症状が安定した心不全患者の受入れをお願いします！



患者の受入れ  
増加！

OKです。誤嚥性肺炎の嚥下評価や訓練も力を入れているので、そういう患者も受入れますよ！



### 病病連携の 円滑化！

急変時入院  
受入れ促進！



急変時入院  
受入れ促進！

### 3 一覧表等をもとに、スキル提供を介した連携を取りたい病院を検討

心不全の亜急性期の医療管理のノウハウをお伝えすることで、B病院との連携を深めたい。



ポストアキュート患者の受入れを増やすために、心不全の亜急性期の管理についてA病院から教えてもらいたい。



### 4 連携を取りたい病院へ連絡、スキル提供の具体的方法について相談

提供可能なスキル・提供を受けたいスキルの内容について担当窓口へ相談  
研修等の具体的方法（時期・期間・場所・方法・費用等）について、両病院で調整

### 5 両病院で研修等の実施（スキルの提供）



### 6 実績等の集約

スキル提供による連携の実績やしきみの改善点等、市が集約